

はじめに

右肩上がりの経済成長が終り、15年に及ぶ長い不況期を脱して、地方都市和歌山市にもようやく景気の回復がおよんできた。今後成熟社会を迎えようとしているが、人口減少、少子高齢化、地球環境問題、資源枯渇など難しい問題が山積する中で、「地域コミュニティの再生」「地域活性化」を図り、新しい地域社会を構築する必要がある。このためには「市民が自ら行動し、それを行政が支援する形」が重要である。そして現在では多数の市民団体が生まれ、行動している。しかし、市民活動がこんなにも活発になったにもかかわらず、それぞれが個別活動に留まっていて、活動団体相互や行政との連携はなかなか難しく、「地域コミュニティの再生」などにまで結びついていないのが実情である。この課題を解決するためには、基本として「どんな市民活動団体があって、具体的にどんなイベントや研究会、シンポジウム等を実施しているのか」「行政など公共機関もどんな支援を具体的に行っているのか」などの情報を共有し、相互に補完することが必要となる。このことによって、NPOなど市民活動団体の連携の基盤が生まれ、イベントやシンポジウムの共同開催や共同研究会などの交流が図られ、地域住民の積極的な参加が生まれて地域活性化等に資するものとする。

しかし、この情報の共有は、現状では県や市の広報紙や個別のホームページ(HP)、コミュニティ紙などを総覧して整理する必要がある、実際には時間と手間がかかり非常に難しい。一方で、現在まとまった時間が取れないなどの理由で、それらの活動に参加できない人々の中にも、自分のできることで何か役にたてないかと考えている人もいるのが現状である。

さて、インターネットの普及は著しく、現在はその「利活用」が重要な段階に入っている。このインターネットを使って、これらの情報を共有できる基盤となるシステム「わかやま情報発信プラットフォーム」を構築し、これらの諸問題を解決して和歌山の活性化に貢献しようと「わかやまNPO協働モデル事業」に応募した。

ここで提案したウェブサイト「わかやま情報発信プラットフォーム(わかやまイベントボード)」をみれば、和歌山県でどんなイベントや講演会・フォーラム・シンポジウムなどが何時・どこで行われるか、どんな団体・グループがあってどんな活動をしているかなどが一覧でわかる。そして、このような情報の共有によって、NPOなど種々の市民団体が相互に交流、連携する基盤を形成することができる。同時に、この「わかやま情報発信プラットフォーム(わかやまイベントボード)」は「みんなでつくる情報板」であるこのウェブサイトを構築・運用していくこと自体が「協働そのもの」になる即ち「使えば使うほど価値が上がるシステム」なので、本当にみんなで盛り上げていきたい。